

「おかやま協働のまちづくり賞」について

1 実施経過

平成28年度	募集テーマ	「笑顔」と「場づくり」
	募集期間	10月5日～12月5日
	応募取組	20取組
	一次審査	12月9日～1月4日 協働推進委員において書類審査 12月10日～12月25日 インターネット投票（688人投票） 1月6日 正副委員長会議で委員の採点結果を確認し入賞5取組決定
	最終審査	2月19日 最終審査と表彰式（参加者170人） <ul style="list-style-type: none"> ・入賞取組のプレゼンテーションと協働推進委員会委員からコメント ・各取組のブースでの質問タイム ・フォーラム参加者の一般投票 ・協働推進委員会委員（審査員）審査会 ・入賞取組以外の応募全取組を紹介 ・審査結果発表と表彰：大賞1、入賞4取組に表彰状と賞金を授与
平成29年度	募集テーマ	「楽しんで年を重ねられる社会のために」
	募集期間	9月1日～10月31日
	応募取組	13取組
	審査	インターネット投票（11月13日～12月10日 375人投票） 12月19日 協働推進委員会において審査 1月6日 正副委員長会議で委員の採点結果を確認し入賞5取組決定
	表彰式	2月18日 表彰式と支え合いの地域づくり実践交流会を開催 <ul style="list-style-type: none"> ・前回から見直しにより、競い合いではなく称え合い、学び合う場として開催 ・協働推進委員会委員長から審査経過の報告と奨励賞8取組の紹介 ・大賞・入賞取組のプレゼン ・各賞の表彰（表彰状、賞金（大賞入賞のみ））記念品のトロフィー（協賛：橋本財団）授与 ・記念講演「地域を支え地域を創る力」河田瑋子氏 ・5つのテーマに分かれ支え合いの実践交流会、全体共有

2 表彰制度及び表彰式への意見（委員アンケート及び表彰式アンケート）

- 募集方法はSNS広告を出す。実施方法は実地審査と当日審査を増やす。
- テーマを絞ったので、該当する取組の団体やグループは応募しやすかったのではないかと。
- 事前審査のため余裕を持って行えた。
- 活気のある取組が多く非常に良い。
- 特に問題はないと思います。
- 審査における作業が多いように感じる。
- 委員会のディスカッションを経て適切なテーマが選ばれ、テーマに沿った優れた取組を行う団体の表彰につなげることができた。プロセス全体を通じて、スムーズに運営されたと感じる。
- 募集テーマは広すぎて悩むのではないかと。募集方法、審査方法などは良かった。
- すべての取組を表彰することができてよかった。応募し、表彰されたことで、自分たちの活動への誇りとなったのではないかと。表彰された取組はどれもすばらしく、それぞれから学ぶことが多くあった。
- 大変良い雰囲気だと思われる。
- 支えあいの地域づくり実践交流会は別の日に行ったほうがよいのではないかと。議論を深めるには時間がたりなかったし、会場も話し合いには不向きだった。
- 協賛の拡大。トロフィーは良かった。
- 評価方法は、団体のプレゼンカや書類の書き方で大きくイメージが異なることを痛感した。市民活動支援室の説明は大変役に立った。

事務局案

☆募集方法は、テーマ決定後対象となる団体等や町内会等に配布するとともに、岡山市HP、つながる協働ひろばで告知。SNS公告はつながる協働ひろばで可能か検討する。

☆審査については、昨年度と同様にインターネット投票を参考にして、委員会で決定するのがよいのではないかと。

☆29年度に引き続き協賛を募る。協賛を募る方法を検討する。

☆表彰式とフォーラムを同時開催するか、別日で開催するかはテーマ決定後に検討したい。当課のみで表彰式を実施する場合は入賞団体の取組発表となる。昨年度のようにテーマで共催できる（市役所の）課があれば検討し、表彰式と同時に行うか併せて検討する。

スケジュール（案）

5月15日（第1回委員会） テーマ決定
6月27日（第2回委員会） 募集要項決定
7月中旬～10月中旬 テーマ募集
11月 インターネット投票
12月下旬（第4回委員会） 審査
30年2月 表彰式および市民協働フォーラム

3 第3回表彰テーマについて

(1) テーマの決め方について

- 公募で市民の皆さんから出てきたものの中から決めていきたい。
- 市民協働を通じたSDGsの達成をひとつのゴールにしてみたい。企業からの参加も歓迎したい。
- 委員会の中で意見を集約する形態が良いと思います。
- 市役所庁内に案を示して決定する。

(2) 委員、市民から寄せられたテーマ案

- U29の若者がプロジェクト・リーダーの事業、まちづくり×テクノロジー
- 29年度が高齢者だったので、30年度は「子どもや若者など」若い世代にターゲットをあてる。
- 次世代に伝えたい残したい文化や環境 ●新たな担い手づくり
- SDGsの目標を基に、「つくる責任、つかう責任」など。
- 食を通じた地域の支え合いの絆づくり(認知症カフェ、子供食堂等)
- 地域コミュニティの活性化に向けた新たな取組(地域の事業者・農業者と移住者とのマッチング)
- SDGs目標ターゲット①と⑧など。
- 自己研修 ●健康年齢 ●今回と同じテーマでもっと掘り下げて欲しい
- 将来を担う子どもの育成 ●世代を超えた、持続可能なまちづくり

事務局案

☆持続可能な開発目標(SDGs)の中から、寄せられたテーマを含むものを設定するのがよいのではないかと。多様な主体での協働での取組が対象となる。



目標1 貧困をなくそう

お金が無いだけでなく、教育や仕事、住居などの必要な物やサービスを受けられないことをなくしていく取組。子どもの貧困に関する活動や、貧困による格差をなくす取組。



目標8 働きがいも経済成長も

男性、女性、若者、障がい者、全ての人にとって働きがいのある人間らしい仕事と安全に働ける環境を提供する取組。仕事が無い若者を減らす活動、働き方改革で課題となっている長時間労働、労働格差など。



目標11 住み続けられるまちづくりを

安全で使いやすい公共交通をつくること、文化遺産・自然遺産を守ること、災害に強いまちをつくること、自分たちのまちをより良くするための話し合いや計画作りに地域の人に参加できることなどの取組。



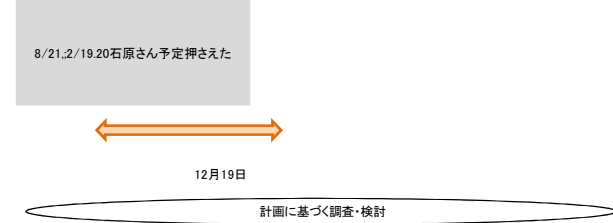
目標12 つくる責任つかう責任

3Rを通してゴミを減らすこと、企業の環境にやさしい活動、捨てられる食べ物を減らす取組など。

平成30年度岡山市協働推進委員会審議日程（予定）

審議事項	30年度											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
委員会開催予定		【第1回】 5/15	【第2回】 6/27		【第3回】 8/下旬				【第4回】 12/下旬		【第5回】 2/中旬	【第6回】 3/下旬
協働推進計画		●29実施報告 (途中経過)、3 0年度計画報告			●29年度実績報告		市民協働 フォーラム					
優れた取組の表彰		●30年度表彰 の実施計画及び テーマ決定	●30年度表 彰募集要項の 確定		候補募集		インターネット 投票		●審査		市民協働 フォーラム	
モデル事業の指定及 び支援措置			●29年度市民 協働推進モデル 事業(補助 金)評価		●31年度モデル 事業実施要綱につ いて		平成31年度市民協働推進モデル事業募集				●平成31年度 岡山市市民協 働推進モデル 事業の一次審 査	●平成31年度 岡山市市民協 働推進モデル 事業の最終審 査

●の項目は委員会での審議事項



6月中旬印刷—最終稿6/27確認、印刷
募集7/2～10/19
インターネット投票11月中
12/19委員会審査
表彰式2月日曜日2/3?
表彰式2/24石原さん押さえた

6月行政テーマ募集7月中旬まで
6月上旬、8/27課題共有
9～12月分析、解決は個別に実施
2月中旬モデル事業審査
3/20モデル事業最終審査